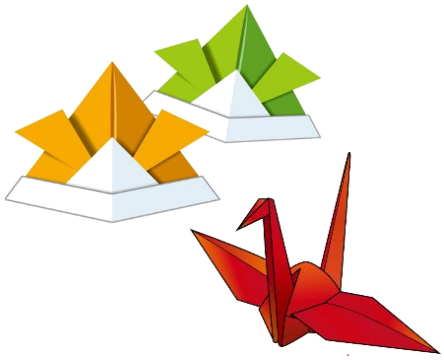
令和２年４月27日

あったかハートなお手紙 21

～未来をつくる 素敵な山内小学校のみなさんへ～

前回に続いて、校長先生が、日本人学校の先生として３年間（2005.4～2008.3）仕事をし、住んでいたルーマニアという国のことを書いてみます。テーマは「折り紙は日本の文化」です。

【折り紙は… マジック!?】



もうすぐ「こどもの日」です。みなさんは、折り紙を使って、右のイラストのような兜をつくることができますか？ その下にある鶴はどうですか？

どうしてこんなことを書くのかと言うと、ルーマニアに住んでいたころ、『折り紙ができるって、こんなにも素晴らしいことなんだ！』と思ったからです。

みなさんも友だちと折り紙遊びをしたことはありますよね。１枚の紙を折り進め、なにかの形を作る。そんな、日本人の誰もがやったことのある折り紙を、ルーマニアで披露すると、誰もが『マッジク！』や『アメージング！』の言葉を発します。ルーマニア人だけではありません。交流のあった全ての外国人が、そんな反応をするのです。

また、こんなこともありました。ある日、知り合い（外国の方）へのプレゼントを紙につつんで持っていきました。そう、右のイラストのように。デパートの店員さんように、上手ではなかったのですが、『すごい！』『美しい！』と言われました。日本の当たり前が、こんなふうに見られているんだ、と感じたものです。

みなさんが、遊びの一つとしてやっている『折り紙』は、外国の方の眼には、とてもすごいことのようにうつるようです。そして箱をきれいにつつむことも…。休校が続いていますが、「折り紙を通して世界の人とつながる」ことや、「世界中の人が驚いてくれる！ 喜んでくれる！」なんて考えると、兜のひとつでも折りたくなりませんか!? !? お家で、折り紙を楽しむのも…いいね。

※恥かしながら、実は、校長先生…折り紙が苦手です。子どもの頃に、もっと折り紙遊びをしておけばよかったと思っています…。みんなのお父さん、お母さんはどうかな？？？

【折り紙 ⇒ Origami】

レジャーシートや、観光地などに畳まれて置いてある地図など、実は、折る・畳むという技術は、他にもいろいろなところで使われています。日本だけでなく、世界中で…。しかれも様々な分野で…。車がぶつかったときに開くエアバッグ！ 人工衛星の太陽電池パネル！ 折り紙は、もはや『Origami』なのでしょうね。

折り紙一つ。調べてみるといろいろとある。楽しくなる。休校中の今だからこそ、奥深く調べてみるのも…いいね。